

部活動等の活躍

3年1組女子の標語が全国上位の作品に選ばれました

《ソフトテニス部》 第3回 ARAKAWA 杯(1年生大会)

準優勝 1年2組女子2名のペア

第3位 1年1組女子、1年4組女子のペア

敢闘賞 1年3組男子、1年1組男子のペア

《国語科》 全国間税会総連合会「税の標語」コンクール **佳作** 3年1組女子
荒川区「税の標語」コンクール **入選** 3年3組女子

《社会科》 荒川区「税の作文」コンクール **優秀賞** 3年2組女子

《英語科》 共栄学園レシテーションコンテスト **第2位** 3年1組女子

《美術科》 薬物乱用防止ポスターコンクール **佳作** 2年1組女子

南千住検定1級(90点以上)取得者

【1年生】 1組 女子2名 2組 男子1名、女子2名
3組 女子1名 4組 男子1名女子1名

【2年生】 1組 女子4名 2組 男子1名、女子1名 3組 女子3名

【3年生】 1組 男子2名、女子4名 2組 男子2名、女子2名 3組 男子1名、女子6名

南千住マイスターのコーナー

南千住の交通と産業 NNG

南千住四丁目目に広大な敷地をもつJRの駅があります。駅といっても旅客の乗降はない、貨物専用の「隅田川駅」です。

隅田川駅は、日本鉄道(東北本線や常磐線を建設した私鉄)が上野駅で扱う貨物を秋葉原駅などと分担し、さらに常磐炭田からの石炭の受け入れを行うために1896(明治29)年に隅田川貨物停車場を完成させたのが始まりです。翌年には「隅田川駅」と改称されています。


1909(明治39)年には国有化、1949(昭和24)年には日本国有鉄道(国鉄)が発足し国鉄の駅になりました。

(昭和62)年には国鉄民営化によりJR貨物の駅になりました。

隅田川駅は石炭の他に木材、砂利などを扱い、隅田川の水運と連絡し、東京の市街地に輸送していました。そのため水路が隅田川から引かれ、駅構内には船への積みおろし場もありました。大水の際にはこの水路から南千住の町に水が溢れてきたという話もあります。現在マンションが建ち並ぶあたりもすべて隅田川駅の敷地でした。


戦後はトラックでの配送などが進み、船への積みおろし場が埋め立てられ、構内を改良してコンテナに対応した整備が整い、首都圏の東北・北海道方面との貨物輸送の拠点として使われてきました。1970年代までは東京瓦斯(分)千住工場、1980年代までは日本石油隅田川油槽所へ続く専用線も存在していました。また、2006年までは、セメントの輸送なども行われていました。さらに現在では、飯田町紙流通センターの移転に伴って、首都圏の新聞・出版産業で消費される紙が、有蓋貨車(屋根付きの貨車)で隅田川駅に到着するようになっています。私たちが手にする新聞や書籍の紙はここに集められ流通しているのです。


隅田川駅の取扱量は発送、到着を合わせて年間約140万トン。日夜たくさんの機関車や貨車が行き交い、荷物発着の拠点として、今日も私たちの生活を支えています。



隅田川駅
貨物を牽引する機関車

撮影；1年3組男子





平成27年12月

第58号

荒川区立南千住第二中学校

(題字;校長 齊藤 進)

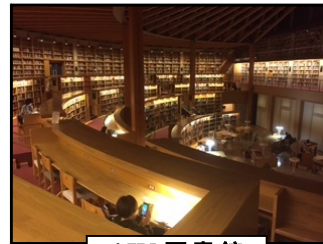
ナンちゃん・ニーくん



Let's come to like English !

～ 映画「図書館戦争」の舞台を訪ねて ～

校長 齊藤 進



AIU 図書館

先日、2年生女子2名が校長室に来室しました。「校長先生、映画『図書館戦争』の舞台となった図書館の写真を見せてください。」

この映画の舞台となったのは秋田県にある公立大学法人国際教養大学、AIU (AKITA INTERNATIONAL UNIVERSITY) の図書館です。

10月30日に、ある事業の視察でAIUを訪れました。

AIUは全ての授業を英語で行う大学で、今、国の内外から最も注目を集めている大学の一つです。大学の学食もメニューなどは英語で表示されるなど、構内のいたるところに英語が使われています。留学生も多く、外国の大学に来たような錯覚を覚えます。図書館は蔵書の8割が洋書で、室内は段々畑のようなつくりでヒノキや杉の木がふんだんに使われ木のぬくもりを感じます。各階には横長の机が設置され、学生が勉学に励む光景が見られました。

私たちがAIUを訪問したとき、青森県のある私立高校の生徒たちの体験授業を参観する機会がありました。授業はすべて英語で行われ、先生役の大学生が持ち前の英語力を駆使して高校生を英語の世界に導いていきました。学んだことの一つに、one-on-one match (一つの日本語に一つの英語しか当てはまらない、という考え)からの脱却があります。お世話になった国際教養大学大学院英語教育実践領域教授の内田浩樹先生の授業では、鳥が永遠に水を飲み続ける、からくり仕掛けのおもちゃを示しながら、この原理を英語で説明してください、と高校生に求めました。当然だれも答えることができませんが、内田先生にかかると簡単に英文が完成します。例えば、「蒸発する」という英語は、evaporation、と言います。しかし、この言葉は外国人でもほとんど使うことはありません。「蒸発する、は水が上に上がっていくでしょ。上がっていくはgo up. どこに? 空気の中でしょ。into the airでしょ。だから蒸発する、はWater goes up into the air.」。内田マジックは慶応大学医学部の難解な英作文の入試問題も簡単に完成させてしまいます。

内田先生はむしろかしい言葉をやさしい言葉に置き換えることの重要性を強調されました。そして、英語を使うことは手段であって目的ではない。自分の考えをしっかりとつとめることが大切であるとも高校生に強調されました。

これなら、誰もが英語が好きになると思いました。同時に生徒の興味・関心を高める英語の指導法を学ぶことができました。

Let's come to like English ! 英語を好きになろう !

二瑞小・三瑞小合同 小中音楽交流会

12月10日(木)午後、第二瑞光小学校、第三瑞光小学校の5,6年生を迎え、南千住二中との音楽交流会が行われました。昨年度はアリーナ工事のため実施できませんでしたが、この会は南千住二中学生徒会が企画・運営し、今回が2回目となります。

生徒会本部の司会で会が始まり、はじめに南千住二中吹奏楽部が、夏のコンクールや霜月祭(文化祭)でも発表した「梁塵秘抄～熊野古道の幻想～」、ドラえもん映画の主題歌などを演奏しました。さすがの演奏に小学生の目も輝いていました。

その後、二瑞小6年生による合唱、三瑞小5,6年生の鼓笛隊の演奏と続きました。小学生も中学生に負けじと、練習の成果を存分に発揮した立派な発表でした。

会の終わりには、南千住二中学生徒会長が「小学校、中学校のこのような交流はとても良いこと。是非、安心して南千住二中に入学してください。」と小学生に呼びかけました。

音楽を通じ小中学生が交流することで地域の輪も広がり、小学生が中学校進学時の不安解消にもつながります。大変有意義な時間でした。



南千住二中吹奏楽部の演奏



二瑞小6年生合唱(左)
三瑞小鼓笛隊(右)



三瑞小合同あいさつ運動

11月31日(月)から12月4日(金)までの1週間、第三瑞光小児童会と南千住二中が協力して、朝の合同あいさつ運動を行いました。南千住二中学生徒会が提案して、数年前から行われています。南千住二中学生徒会本部役員をはじめ、毎日有志約30名ほどが参加し、三瑞小の6年生とともに、登校する児童・生徒や、道行く人にも三瑞小前の通りでさわやかにあいさつをしました。多くの児童・生徒に戸惑い気味の地域の方もいらっしゃいましたが、「おはようございます」と笑顔でこたえてくださる方がたくさんおり、とても良い気持ちでした。期間中の南千住二中の生徒の参加者は、生徒会本部役員、有志を合わせ、延べ約150人にもなりました。



三瑞小前の通りで元気にあいさつ

ますます充実しています

永久水利施設訓練

11月28日(土)、荒川区、荒川消防署などが協力し、永久水利施設訓練が行われ、南千住二中レスキュー部も参加しました。永久水利とは、万が一の災害の際に、水道施設が使えなくなった場合を想定し、隅田川の水を利用しようとするものです。この日は、隅田川からポンプで水をくみ上げ、何力所かを經由させながら、ホースを荒川工業高校の校庭までのばして水を送り、放水訓練をしました。思っていたより大変な作業でしたが、レスキュー部員は真剣に取り組んでいました。会の終わりには西川区長さんから直接ねぎらいと励ましの言葉をいただきました。



西川区長さんからの話



重たいホースをリヤカーで運ぶ

(永久水利施設訓練参加者)

- 【2年生】 2組 男子5名女子1名
3組 女子2名
- 【1年生】 1組 女子2名
2組 男子2名、女子3名
4組 男子2名、女子3名

ジュニア防災検定

レスキュー部は「ジュニア防災検定」取得に向けて取り組んでいます。今年度、荒川区の全中学校に「防災部」が設置されたのを受け、荒川区が各中学校の防災部員に防災検定の取得を支援してくれています。防災部のパイオニアとしての南千住二中レスキュー部ももちろん受検しています。特に、スーパーレスキュー部員(他の部と兼部せず、レスキュー部の活動に特に力を入れている部員)を中心に、2,3年生は上級、1年生は中級を受検しています。全部で44名になります。受検には家庭で取り組む事前課題、個人またはグループで取り組む事後課題も必要です。家族やグループで事前課題に取り組むことは、それが家族の防災意識を高めることにもつながります。また、事後課題もグループでさまざまな議論を深めるきっかけになります。現在、部員が小グループになり事後課題作成に取り組んでいます。

絆ネットワーク、年賀状作成、防災検定など、これらのレスキュー部の活動は、文部科学省にも注目されており、後日視察を受けることになっています。また、消防総監賞受賞などにより、1月6日(水)に行われる「東京消防庁 出初め式」に8人のレスキュー部員が参加することが決まりました。さらに現在、テレビ東京が取材に訪れています。放送日等、詳しいことは後日ご案内いたします。

レスキュー部の活動が

社明パレード



横断幕とプラカード持ち



吹奏楽部



大蛇御輿の担ぎ出し

12月6日(日)、毎年恒例の南千住地区「社会を明るくする運動」のパレードが行われました。南千住二中の校庭を出発し、荒川一中まで向かいます。文字通り「明るい社会」をつくるために地域の方々と一緒に小中学生も元気に行進します。

南千住地域の小学校、中学校が参加していますが、特に南千住二中は、パレードの先頭を飾る吹奏楽部が33名、プラカードや横断幕をもつレスキュー部が32名、そして今年は、地域に伝わる伝説「牧の野の大蛇」の御輿の担ぎ出しに21名、さらに地域の天王太鼓の打ち手にも南千住二中学生が5人と、合計91名が参加しました。実に全校生徒の約30%に上ります。吹奏楽部は寒くて手がかじかむ中、音楽を演奏し続け、パレードを先導しました。パレードのスタートに際しては今年度南千住二中が制作した大蛇の御輿が繰り出し、参加者を驚かせました。また、天王太鼓つくも会にも、5人の南千住二中学生が参加し、勇ましい音色でパレードを盛り上げ

ました。レスキュー部員中心の横断幕やプラカード持ちも、長い道のりを交代しながら立派に役割を果たしました。

これらの活動に、会を主催する南千住地区委員会の方々から毎年、感謝とお褒めの言葉をいただいています。明るい社会を築くために、南千住二中学生も大きな役割を担いました。

天王太鼓の演奏



年賀状作り

毎年、荒川区社会福祉協議会の依頼を受け、区の『みまもりネットワーク事業』に登録している75歳以上の一人暮らしの高齢者を中心に、年賀状をお送りする活動に協力しています。加えて南千住二中の『絆ネットワーク』に登録してくださっている皆様にも年賀状をお送りしようと、12月2日(水)にレスキュー部1,2年の有志68名が年賀状作りを行いました。

高齢者の方々のからだを気遣い、心を込めて作りました。



テレビ局も取材



作られた年賀状

環境委員会 落ち葉掃き

落ち葉を掃く環境委員



秋から冬に向かい、校舎の周辺は街路樹などの落ち葉がたくさんです。毎日毎日、主事さんが掃き集めますが、その量には追いつきません。そこで毎年立ち上がるのが生徒会環境委員会です。今年も委員会の活動の1つとして、早朝の落ち葉掃きを行いました。毎日行うのはなかなか大変なこと。それでも各クラス環境委員が集まり、継続的に取り組んできました。おかげで校舎の周りも道路もすっかりきれいになりました。このような活動も「気づき、考え、実行する」JRC(青少年赤十字)精神の表われかもしれません。街行く人から「ご苦労さま」と、声をかけていただくこともありました。活動した各クラス環境委員を紹介します。

- | | | | | |
|-----|----------|----------|----------|----------|
| 3年生 | 1組 男女各1名 | 2組 男女各1名 | 3組 男女各1名 | |
| 2年生 | 1組 男女各1名 | 2組 男女各1名 | 3組 男女各1名 | |
| 1年生 | 1組 男女各1名 | 2組 男女各1名 | 3組 男女各1名 | 4組 男女各1名 |

2年ぶり中学生マイスター誕生!

第四回 南千住検定

12月12日(土)、授業公開日の3~4校時に第四回を迎えた南千住検定が行われました。9月にも生徒のみで行われましたが、今回は一般の受検者も交えての検定となりました。この南千住検定は世間でも注目を集め、南千住二中の生徒に加え熱心な一般・保護者の方、合わせて33名が受検しました。全校生徒と一般の方がアリーナ(体育館)に一堂に会しての検定は、静寂の中で鉛筆を滑らせる音だけが聞こえ、壮観ともいえる光景でした。

さて、検定の結果は...。生徒のマイスターが2年ぶりに誕生しました。2年3組女子1名の満点を筆頭に、3年1組男子2名、3年2組女子1名、2年3組男子1名の5人です。おめでとうございます。また1級(90点以上)を34人、2級を42人、3級も50人が取得しました(1級取得者は最終面に掲載)。平均点は3年生73.8点、級取得者は合計58人、同じく2年生71.3点、49人、1年生62.2点、18人と、やはり3年間地域学習に取り組んできた3年生はさすがでした。一方、一般・保護者は受検者33人中、マイスター(98点以上)が何と9人も誕生。南千住二中図書館指導員の上原先生も満点でマイスターを取得しました。さらに、1級12人、2級3人、3級1人と、一般の方のレベルの高さには驚かされます。



受検者がアリーナに会す



一般受検者と肩を並べ